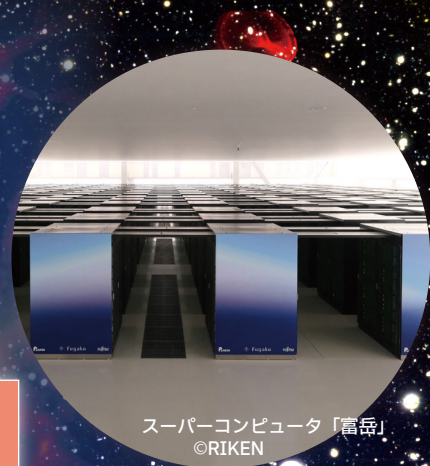


ICRR & Kavli IPMU 春の合同 一般講演会 2022



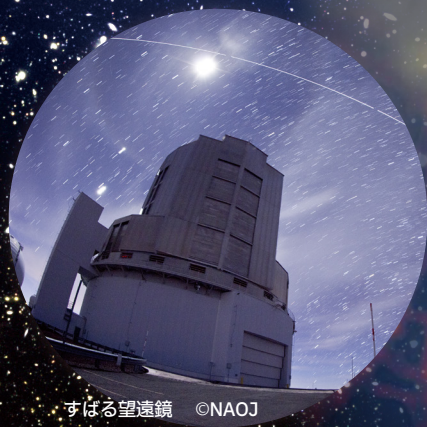
講演者

播金 優一 助教 (ICRR)

吉田 直紀 特任教授 (Kavli IPMU)

はるかなる銀河と宇宙の謎

すばる望遠鏡の観測で発見された宇宙初期の銀河の様子や、宇宙の構造形成の大規模コンピュータシミュレーション研究からわかることについて、2人の研究者がお話します。



2022 年

4月9日(土) 13:00 開演

会場参加：
アミューゼ柏（柏市）

第26回 東京大学宇宙線研究所 × カブリ数物連携宇宙研究機構
春の合同一般講演会 2022

主催：東京大学宇宙線研究所 (ICRR)

東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU)

共催：柏市教育委員会 後援：柏市

お問い合わせ：宇宙線研究所広報室

柏市の会場と YouTube 中継のハイブリットを予定。ただし、COVID-19 の状況によってオンラインとなります

< 応募の締め切り >

柏市の会場 (150名) ・ ・ 3月22日 (火)

オンライン (無制限) ・ ・ 4月7日 (木)

お申し込みは特設ページへ



13:00~13:50

1 最大の望遠鏡で銀河観測の最前線に挑む

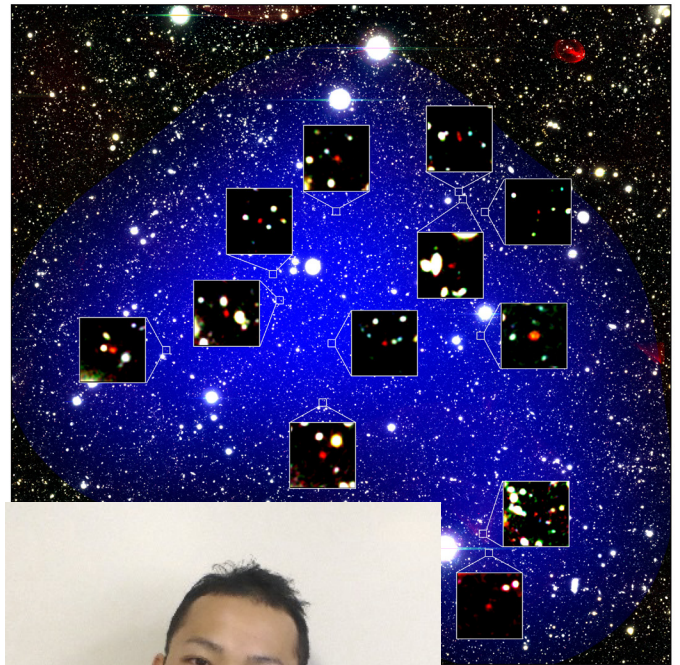
はりかね ゆういち

播金 優一 ICRR 助教

我々の天の川銀河を含む無数の銀河は、長い宇宙の歴史の中で生まれ、進化をしながら現在の姿に成長してきました。天文学者たちはすばる望遠鏡やアルマ望遠鏡といった巨大望遠鏡を使って、そのような銀河の進化の様子を調べています。この講演ではそのような銀河観測の最前線の様子をお伝えするとともに、昨年末に打ち上げられたハッブル宇宙望遠鏡の後継機である、ジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡で期待される研究成果についてもお話しします。

<プロフィール>

東京大学宇宙線研究所助教。博士（理学）。1991年東京都生まれ、愛知県出身。2019年東京大学理学系研究科博士課程修了。国立天文台、英国ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドンを経て現職。専門は遠方銀河観測で、すばる望遠鏡やALMA望遠鏡を使って宇宙史を通じた銀河の形成を研究している。



すばる望遠鏡で特定した130億年前の原始銀河団（写真上）と播金助教

13:50~14:40

2 最大の望遠鏡と最速のコンピュータで宇宙の謎に挑む

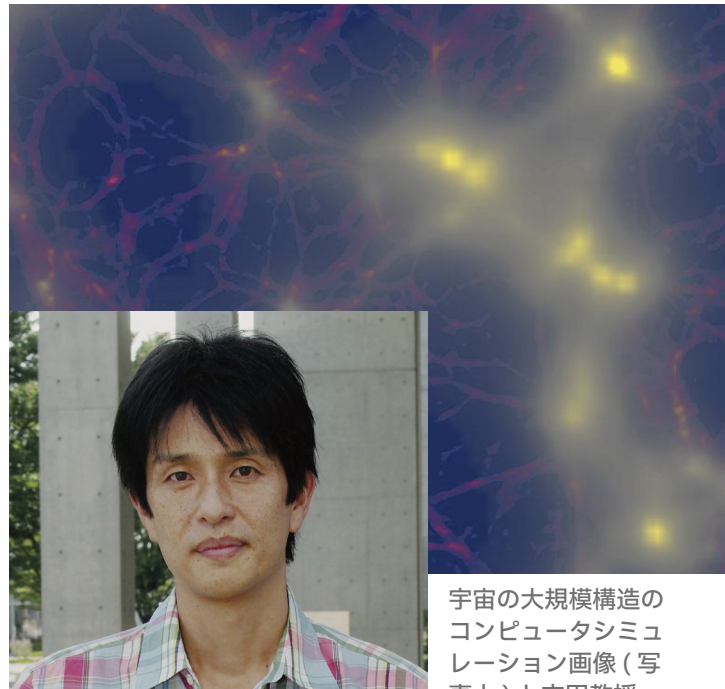
よしだ なおき

吉田 直紀 Kavli IPMU 特任教授

最近の宇宙の観測から、宇宙の構成要素や進化の歴史について多くの事が分かってきました。ビッグバンとよばれる火の玉状態で誕生した宇宙は、その後闇に閉ざされ、暗黒の時代をむかえましたが、やがて星や銀河などの光輝く天体が誕生し、宇宙は再び光に満たされるようになりました。現在の宇宙には差し渡しが数億光年にもおよぶ銀河分布の大規模構造が形作られており、様々な観測により宇宙のダークマターがどこにあるのかも分かってきました。講演ではスーパーコンピュータによるシミュレーションの結果を用いて宇宙進化の謎に迫ります。

<プロフィール>

東京大学カブリIPMU特任教授。東京大学理学系研究科教授を兼務。Ph.D. マックスプランク宇宙物理学研究所博士課程修了。専門は宇宙物理学。主な研究テーマは、観測的宇宙論と宇宙物理学。大規模構造数値シミュレーションを用いた天体形成や、機械学習を用いた宇宙論の研究を行っている。



宇宙の大規模構造のコンピュータシミュレーション画像（写真上）と吉田教授

<< 休憩 20分 >>

15:00~16:00

3 研究者のクロストーク（質疑応答含む）

日時 2022年4月9日（土）13:00~16:00

場所 アミュゼ柏（千葉県柏市）& オンライン **要事前申込**

主催 東京大学宇宙線研究所（ICRR）
東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構（Kavli IPMU）

共催 柏市教育委員会 後援 柏市

お問い合わせ 宇宙線研究所広報室

✉ icrr-pr@icrr.u-tokyo.ac.jp

☎ 080-4866-2631（平日10~17時）

！ お申込み方法

インターネットで事前に申し込みが必要です

募集期間 4月7日 / 会場参加は3月22日まで

申込サイト

https://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/public_lectures/

*宇宙線研究所のトップページからも申込サイトに行けます。

